

## 「うららこま探's」グループを中心とする小松駅前中心商店街まちなか賑わい創出事業

学生団体名：うららこま探's（小松短期大学 地域創造学科）

協力校 JRC（小松市立高校 普通科，小松商業高校 商業科）

グループ会員総数40名（小松短期大学生10名，小松市立高校生20名，小松商業高校生10名）

参加学生：本年度活動における参加学生

白瀬まりな・善積 愛・池野華代・北 有恵・北村美沙希・木津千里・上西孝明・松原沙織・  
三田陽香・矢田 梓 等 延べ57名

### 1. 地域活動の概要

小松中心商店街（三日市・八日市・駅前レンガ通り・中央通）の活性化を図るため、(株)小松賑わいセンターの事業として、小松ふるさと勉強塾を立ち上げた。この事業は、若い世代に小松の良いところを知ってもらいながら、小松のPR活動を推進するもので、学生目線による各種事業を実施した。この結果一時的であったが、中心商店街の賑わい創出に貢献することができた。

### 2. 地域活動の具体的な内容

下記の具体的な事業を開催するに当たり、クラブ員が事前に議題を整理し合意を得て推進した。

4月29日 小松市制70周年オープニング式典参加し「私の好きな小松」を発表，参加学生3名



5月15日 お旅祭りにて小松うどんPR，参加学生26名



8月 8日 「八の市出展」にて小松うどんを使った制作パン，オリジナルスイーツ販売，参加学生21名



8月22日 「小まめ夏フェス IN 勝光寺」イベント参加，参加学生2名

10月10日 どんどんまつり参加（小松うどんを使った制作パン販売），参加学生5名

10月29日 「第16回寺町サミット IN 小松」参加，参加学生4名

1月20日～「こま探シュラン」ブログ情報発信（インターネットを利用し商店街の各お店の一押し商品をPR），参加学生12名



### 3. 地域活動の評価

同クラブとしては本年度初めての具体的事業の取組みであり、悩みながらの活動であった。このため、小松中心商店街から一時的活動としての一定の評価を得ることはできた。しかし、年間を通じての活性化支援ができなかった点が課題として残った。

活動をしながらか、小松の商店街の実態や問題点を理解することができた。駅前商店街の衰退現象は、小松市だけでなく全国各地にあるため、それぞれどういう取組みをしているのかについて興味を持つことができた。

### 4. 今後、この地域活動を継続、活発していくために必要なものとその課題

昨年度にクラブを結成し、「小松ふるさと勉強塾」において、どのような活動をしていくかを協議するため、年10回程度の勉強会を開催した。同勉強会で決定したことを、今年度の活動事業計画として策定し実行に移した。年間を通じての事業を遂行するにあたり、これまで以上に地元商店街との密な連携と、学生による活動内容の充実と強化が大事ではないかと考えている。

### 5. その他（学生や地域の方の感想等）

○ まちおこし等が主催する地域のイベントにグループとして参加したことにより、中心商店街の空洞化の実態が理解できた。

また、地元の食材を活用した創作パン（うどんカレーパン）が大変好評で、どんどんまつりのイベント等で販売し完売したことが良かった。

○ 地元商店街の「お店の一押し商品」を体験し、ブログで紹介することにより、中心商店街の活性化に少しは役立つことができたのではないかと考えている。ブログ作りでは、お店の取材や記事の編集作業などをしながら、情報発信の難しさや大切さを学んだ。活動は、「i-Zone」（中心商店街が取組んでいる事業）をブース借り上げして行った。